

調子府町認定こども園の教育・保育指針

わくわく園だより No.29
R5年11月 3日(金) 文責: 牧野

～親の威厳～

父母研修会の講師三和先生は、「立派な人はいません。立派な親になろうとしないでもいいのです。」と言われました。「子どもは親の背中を見て育つ」とも言います。無理に立派な親を演じる必要はありませんが、子どもから尊敬される親でありたいものです。そのためには、範を示すことは大事です。



親がテレビを観ながら、ゲームをしながら「勉強しなさい!」と言っても効き目はありません。親は家庭のリーダーでなくてはなり

ません。威厳がなくてはなりません。

家族という集団の中で、親子が横並び(同等)になるのはよくありません。趣味や娯楽なら横並びで楽しめます。しかし、何から何まで横並びだと、いざ問題が起こったとき子どもは親の言うことを聞きません。

親は各上でなければなりません。友だちのような関係はよくありません。家庭内でのリーダーは常に親であることを示す必要があります。威厳を感じるのは子ども側です。親があえて威厳を示すものではありません。威厳を示すとは、例えば、小さな約束一つとっても、きちんと守ることです。守れなかったときには、子どもであってもきちんと謝ることです。日頃の信頼関係が蓄積されて威厳になっていくものです。溢れる愛情を子どもに注いでいけば、子どもは親を尊敬するし、そこに威厳を感じるものです。威厳とは才能ではありません。後天的に身に付けるものです。

給食試食会(10月20日)～参加者の感想～

- ・さんまの焼き方がよかったです。家ではできなさそう…。
- ・家では出ない献立を毎日バランスよく出してくれています。見た目の彩もよく「食べたい」と感じました。
- ・さんまの骨が気にならず、おいしかったです。
- ・うちの子は、給食の内容によって園に行きたいか、行きたくないか決まります。毎日、「今日の給食は?」と聞いてきます。苦手なモノが食べられた日は、「キノコ食べたよ」「ワカメ食べたよ」と報告してくれます。



～お風呂の入り方をきちんと教える～



寒くなると温泉が恋しくなり、週末は、近くの温泉に行くようになりました。そこで気になるのが、子どものお風呂の入り方です。体を洗わずそのままドボンとどび込む子、立ったままシャンプーして、シャワーを周囲にまき散らして頭を洗う子がいます。まわりに迷惑をかけているのに気付いていません。一緒にいる親も注意をしません。

最近では街に銭湯がなくなり、公衆浴場で大人からマナーを学ぶ機会がありません。でも、親が“まわりの人のことをきちんと考えられるように”という育て方をしっかり持っていれば、たとえ銭湯に行かなくても子どもは自分で気づくものです。その家庭がどんな子育てをしているか、手に取るように分かるのが「お風呂」です。

「お風呂に入るときは、まず体を洗ってからね。体を洗うときは、まわりの人にしびきがかからないように注意して、座って流そうね。」お風呂の入り方を教えることは、優しくまわりを気遣える子どもになる大切な機会です。お風呂の入り方は、こども園ではできません。

11月 6日(月)から 11月10日(金)までの予定

- 6日(月) 歯磨き指導(3～5歳児) 10日まで お集まり会
- 7日(火) 園長先生の読み聞かせ(2・3歳児)
- 8日(水)
- 9日(木) 分掌主任会議(職)
- 10日(金) 避難訓練



公民館で文化祭が開催されています。
足を運ばれてはいかがですか?